

安全な農畜産物生産を支援するICT営農管理システムの開発



溝口勝
東京大学大学院農学生命科学研究科
amizo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp



はじめに 私たち東京大学「福島復興農業工学会議」は2011年の原発事故直後から「農業工学」の研究を活かして飯舘村で研究活動を続けてきました。その一つが現実的な農地除染技術の開発を基軸にした農業再生の取り組みです。しかし、国による除染がほぼ終了し、避難指示が解除された現在は、帰村した方々に対する現実的な農業再生の支援が必要とされています。そこで、私たちは、平成29年度地域復興実用化開発等促進事業に本テーマを提案し、7月下旬に採択されました。現在、本研究科の研究者・事務職員が一丸となって本事業に取り組んでいます。

農業・農村の再生



FMS(Field Monitoring System)
モニタリングのみ

ICTで実現する！

遙かなるシリーズ
(特許申請中)
・小型
・いろんなセンサーに
対応可能



HALKA
モニタリング+制御

水田



佐須地区(M氏水田)

ハウス



松塚地区(H氏ハウス)

牧畜



松塚地区(T氏放牧地)

避難先でのモニタリング



水田



水位、水温、生育

放射能

ハウス



気温、CO₂、生育

放射能

牧畜



電柵通電、生育

放射能

避難先からの操作



水田



ハウス



牧畜



排水ポンプの始動

除染圃場は排水が悪く、明渠の水抜きが必要



濁水の流入防止

濁水の放射性Cs濃度は高く、流入防止策が必要

本システムの発展

避難者



- ✓ 大規模農家
- ✓ 兼業農家
- ✓ 新規就農者
- ✓ 海外

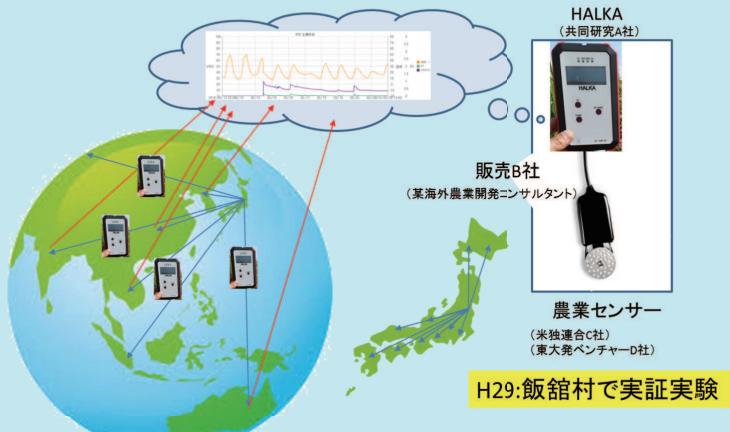


飯舘村

現地



ビジネスプラン



(将来)飯舘村で、組立工場、マーケティング、海外展開、等々

(活動拠点)飯舘佐須事務所



東京大学農学生命科学研究科
福島復興農業工学会議

